

ZEH の取り組みを始めました（目標公表）

2014年4月の閣議決定「エネルギー基本計画」において、「住宅については、2020年までに標準的な新築住宅で2030年までに新築住宅の平均で住宅の年間の一次エネルギー消費量が正味ゼロになる住宅（ZEH）の実現を目指す」とする政策目標が制定されました。

経済産業省は2016年4月、「住宅・ビルの革新的省エネルギー技術導入促進事業費補助金 ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）支援事業」における ZEH ビルダー登録制度の概要を公表しました。この制度は補助事業執行団体にて登録要件を満たす工務店やハウスメーカー、建築設計事務所などを対象として公募を行い、「ZEH ビルダー」として登録するものです。

当社としては「平成28年 ZEH ビルダー登録申請」を行い、以下の通り2020年度に向けた ZEH 普及目標を策定いたしました。

ZEH 受託率目標値

平成28年（2016年）	10% *実績数2棟（内補助金採択1棟）
平成29年（2017年）	20%
平成30年（2018年）	30%
平成31年（2019年）	35%
平成32年（2020年）	55%

ZEH の周知・普及に向けた具体策

自社の問い合わせ顧客や見込顧客の方々へ向けて、HP や家づくり勉強会などのイベントパンフレットなどで、ZEH 住宅への取り組みや活動を積極的に PR し、性能や効果などの提案を積極的に周知活動をしてまいります。

自社 HP には ZEH 住宅関連の取り組みを随時掲載し、地域社会に向けて普及活動に努めます。

ZEH のコストダウンに向けた具体策

関連会社に ZEH への取り組みを理解してもらい、お客様の要望に応えられるように努力します。基本計画設計段階で、敷地条件や開口部位置の計画・通風計画などを駆使し、パッシブデザインを取り入れることにより、建物の仕様でコストダウンを図ることが可能になると考えています。

ZEH 仕様を標準化する事で、材料の無駄を省く事はもちろんのこと、年間の採用数量を増やしメーカーへコストダウンの折衝をいたします。

その他の取り組みなど

自社主催の ZEH 家づくり勉強会を定期的に行います。

社員の ZEH 関連の省エネ勉強会参加

自社で外皮計算や室温シミュレーションなどのソフトを使った解析を行いタイムリーにお客様へ ZEH のご説明が出来る様社員研修を行ってまいります。